

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人きらめき福祉会	代表者	理事長 竹生 正人	法人・事業所の特徴	当事業所では、「利用者の笑顔と地域社会のために」を法人理念とし、「あなたらしいつまでも」をケア理念に、地域の社会福祉に貢献し、地域とともに社会福祉の向上が図れる拠点づくりを目指しています。また、リハビリ専門職を中心に機能訓練の充実化や多職種が利用者毎の能力を活かし根拠に基づいたケアの推進によって利用者の自立支援やその人らしい生活の支援を行っています。法人としての強みを生かし地域との交流の機会にも積極的に参加し地域のお声に耳を傾けや生活課題の解決に向けて力を入れています。
事業所名	きらめきの里鯖江	管理者	後藤 賢司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
					5人			11人		16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練については職場会議や日次ミーティングにて運動メニューの内容を共有して他の職員でも行えるようにし、業務スケジュール表に記載して機能訓練の習慣化を進めていきます。 事業所内での様子を知っていただくために写真付きのモニタリングを行いお配りしていきます。 上着を掛ける際にご利用者の名札を掛けて間違いがないようにしていきます。また、その他の洋服に関してもご家族に確認のもと名前を書くなどの対応をしていきます。 ケア会議やミーティングにてケア方法の重要点を共有してご利用者ご家族に安心して頂けるケアを心がけていきます。 	<p>機能訓練については、個別メニューを作成し、ケア会議等で内容を共有し機能訓練の充実を進めています。</p> <p>写真付きのモニタリングを毎月作成しご家族に配布しています。</p> <p>利用者の名札を作り、靴や上着の取り間違いを防いだことで利用者自身でも行えるようになっていきます。</p> <p>利用開始前のケア会議を必ず実施し、ミーティングや職場会議でもケア会議の時間を確保し内容の共有や見直しを図りケアの統一を進めました。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の項目7.「運営」について①「事業所のあり方について職員として意見を言うことができますか」の個人回答が「なんとかできている」が2名、「あまり、ほとんどできていない」が9名となっており、問題点の把握が必要ではないか。 小規模多機能を利用しながら機能訓練が受けられ、良くなっている様子がみられる為とても嬉しく思います。 事業所内での取り組みはモニタリングなどで拝見できますが、事業所が関わっていない時間帯の利用者の様子などはどのようになってますか。 自分から発言する事は多くないですが、なるべく沢山の活動に参加させてほしい。 	<ol style="list-style-type: none"> 行動指針に沿った個人目標の設定を行い、問題点の認識と共有を図り、解決策の検討を面談等で行っていきます。また職場会議を活用し職員の意見を集約し総括確認の上、月次方針に意見反映します。 機能訓練に関してはより多くの職員が取り組めるように利用者毎の個別メニューの作成を進め、必要に応じて職員に個別で伝達し機能訓練の充実化をより一層進めていきます。 適切なケアマネジメント手法を活用し、自宅生活における状況を深く把握します。 ライフサポートプラン2を活用して、利用者の24時間の生活の流れ、したいことなどを把握し、活動に繋げていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 食事については、温かいお食事を食べてもらえるように手順の見直しを検討していきます。 役割提供、活動提供については利用者によって偏りがあるため、利用者の思いや生活背景などを普段の関りやケア会議の中で情報共有を行い、自立支援に向けた関りを強化していきます。 事業所の様子を知っていたくために、毎月のモニタリングに加えて、コロナウイルスの情勢に注意しながら事業所とご家族が関わる機会を作れるよう検討していきます。 	<p>食事は温め直すなどの個別対応を行っています。</p> <p>役割提供、活動提供については、アセスメントやケア会議などで話し合った内容をプランに反映し、内容を記録し共有を図ります。</p> <p>感染対策については福井県の感染マニュアルに沿った対応を徹底しています。ご家族には送迎時やSNSを通して取り組みをご案内し、ご家族と関われる機会に繋がっています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 情報通信機器を積極的に活用されている印象です。安全面への配慮も伺えてとても安心します。 利用者さんが安心して過ごされている様子が伺えて良いですね。 昼食作りをされているとの事で、家ではなかなかできないため、事業所でしてくれているのは嬉しい。 ぜひ中に入って様子を見てみたいです。 	<ol style="list-style-type: none"> 生産性向上委員会においてICT機器の活動やその効果を検証し、各職員へ共有・意見集約を行います。 活動提供としては利用者との日々の関りの中でやりたいこと、興味のあることをお聞きし、楽しみや生きがいを感じてもらえるような取り組みを計画し進めていきます。 毎月のモニタリングだけでなく、SNSなどで随時情報発信を行っていきます。またコロナウイルス感染症も5類となり、事業所への出入りの制限も緩和されている為、お気軽にお申し付けいただければと思います。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・地域のイベント・奉仕活動など利用者の参加できる活動について検討していきます。</p>	<p>職員の住んでいる地域でのお祭りの休憩所として施設を開放し利用者の参加を進めました。また、施設内でとどまらず外出計画を多くし、鯖江市内のイベントにも参加し利用者も楽しませていました。</p>	<p>1) 困ったことを伝えと、次回には改善されているため安心です。 2) イベントに参加させてもらっているのでこれからもお願いします。 3) 学生さんが見学に来られ、とても笑顔になっていたとお聞きしました。これからも学生さんなどとの交流はあるのでしょうか。</p>	<p>1) ご意見やお申し出については事業所内で共有し、改善事項を速やかに解決できるよう対応継続します。 2) 将来を担う人材の福祉意識高揚に繋げる福祉教育活動にむけて学生の職場体験の受け入れを行っていきます。また毎月の地域福祉委員会やAgatte委員会に職員が参画し、法人の有する施設機能(Agatte)を活用した地域住民と利用者との交流の場の提供を行っていきます。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>・利用者の思いや興味のあることなどを普段の関りの中からお聞き、地域と関わる機会の確保に向けて取り組んでいきます。</p>	<p>地域福祉委員会やAgatte委員会で企画している地域公益企画の案内を行い、興味を示された方には参加していただき、地域と関わる機会に繋げています。</p>	<p>1) どんどん外にでて地域のイベントに参加してほしい。 2) 利用者も地域公益活動に参加しているのでしょうか。</p>	<p>1) 地域イベントに関しても継続して参加検討を行い、施設外での活動を進めていきます。 2) 地域福祉委員会やAgatte委員会には職員も参加しており、企画ご案内を継続し、利用者の参加を促していきます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>・今後はより事業所の取り組みを知っていただくために、利用者の活動や取り組みの結果についておしらせしていきます。</p>	<p>事業所について広報誌だけでなく、SNSで活動を発信し、事業所と特徴でもあるリハビリに関しても取り組み内容を地域連携室、包括支援センター、居宅介護支援事業所などにご案内しています。</p>	<p>1) リハビリによって改善していることは素晴らしいと思います。どんどん発信してください。 2) 運営推進会議で頂いた意見は職員間で共有し、改善点については迅速に対応している。</p>	<p>2) 小規模利用者に関する生活課題について運営推進会議にて共有し検討を依頼していきます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・引き継ぎ全職員へのAED研修を進め、防災訓練についても開催に向けて計画的に進めていきます。</p>	<p>委員会を中心にAED研修に加え、利用者ごとの緊急時対応手順の確認を行っています。防災訓練については消防署の立ち合いの基年2回、訓練を実施しています。</p>	<p>1) 地域の防災訓練に参加しましたが、早めにきらめきの里の方に避難したいとお願したところ大丈夫ですよと言われたので何かあったらお願いします。 2) AED取扱い訓練など地道に実施されています。福祉避難所として備蓄品確保党の細部の検討が必要ではないか。</p>	<p>1) 2) 訪問サービスなどで情報収集を行い、必要に応じて宿泊サービスを活用していきます。また防災・避難訓練を継続するとともに、事業継続計画(BCP)の更新や備蓄品の確保などを進め防災体制を充実させお一人暮らしでも安心して生活できるよう支援していきます。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 16 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	人	人

前回の改善計画
・初回担当者会議を必ず実施し、課題と目標、利用者、家族が求めていることについて職員間で協議し、不参加者は情報収集を行い確認のサインを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・アセスメントやケアプランを事前に回覧し、日時ミーティングや月次の職場会議にて初回担当者会議を実施、することができました。不参加者に関しては議事録で確認し不明な点は確認することを徹底しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11			
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11			
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		11			
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・初回担当者会議や日々の関りの中で把握した情報は ICT 機器を利用して記録し職員同士で共有しています。ケアの疑問点は都度本人、家族、ケアマネに確認しながら支援しています。 ・ケアマネを中心に利用前に事前訪問を行い、本人の状態や人柄の把握、家族の不安点などについて把握し、寄り添いながら支援しています。 ・全利用者のモニタリング用紙を毎月作成し、利用時の様子やプランの進捗状況の報告を行っています。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ケアプランの内容については共有できているが、「ライフサポートプラン 2」を活用した利用者の 24 時間の生活様子の把握やアセスメント情報についての職員間での話し合いが十分に行えていない事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・初回の担当者会議で「ライフサポートプラン 2」を活用して生活の流れやこだわり、ケアのポイントまで共有を図り、新しく知り得た情報は追記し、不参加者には ICT 機器で申し送りを行います。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 16日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	人	人	人

前回の改善計画	<p>・意欲があまりない利用者や思いの訴えの少ない利用者の潜在的な思いの把握は、以前の生活背景の再確認や日々のコミュニケーションやスキンシップの中での反応を観察して、職員間で協議し、利用者の「～したい」を明確にしていくプランに反映する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・以前はご自分で自宅の生活ゴミを処分することが出来ていた方が、出す曜日を間違える事が多くなったことでゴミを自宅にため込むようになっていました。訪問時、ご本人と会話を重ねることで自宅内のゴミを捨てられるようになりたいと思いが聞かれたため、後見人や区長さん、民生員さんに相談の上、協力いただけることとなり、生活ゴミを処分することができました。ゴミの整理ができたことで利用者も意欲的になり自主的に燃えるごみを出しに行けるようになりました。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8	3		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	1		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	2		
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		9	2		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・事前訪問でご本人や家族から「～したい」ことや思いの聞き取りを行い、その内容をミーティングや職場会議で共有を行っています。</p> <p>・ケアプランの支援内容と目標を一覧化し、プランに沿った支援や記録が行える体制をとっています。</p> <p>・意欲や訴えが少ない方に対しては日々の関りの中で知り得た情報をアセスメント表に反映した内容から「～したい」ことを組み取り、実現に向けて活動計画を行っています。(外出や昼食作り、囲碁将棋活動)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・事前訪問や日々の関りで知り得た情報をもとに利用者の「～したい」の把握に努めていますが、意欲や訴えが少ない方に対しては「～したい」の把握や行き届いた支援が不十分な場合があります。その結果に対しての振り返りや次の取り組みについての協議が行えてないことがあります。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・「～したい」の把握が不十分な方には、再アセスメントを行い、新たな情報から支援内容を職員全体で検討し、実践していきます。不参加者には ICT 機器で申し送りを行います。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	11人	人	人	人

前回の改善計画
 ・知り得た情報の中から思い出を感じるような活動計画を定期的に行い、利用者の笑顔や意欲の向上に繋げていく。※本人だけではなく、家族からも「以前の暮らし方」について情報収集する。
 ※会話や聞き取り時に昔の写真や映像を活用して「以前の暮らし方を」を引き出す工夫をする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・通いに来られても一人で座ってテレビを観て、他者との関りが少ない方に対して本人の興味を引く事ができないかと考え、送迎時に家族から事業所で様子を伝え、本人が興味を示しそうなものや好きなことについて聞き取りをした結果、絵画を書いたり、見たりすることが好きとの事で、昔の絵画を見に出掛けたり、事業所で工作やちぎり絵などの作業を提供することに繋がっています。
 ・また、以前の生活では毎日調理をしていた方が認知機能の影響で行う機会が減り、自信も無くしていた方に対して再び自信を取り戻し、意欲的な生活を過ごしてもらうために毎月「料理の日」を設けて利用者手作りの昼食を皆さんで食べてもらっています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	4		
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	4			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		10	1		
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4			
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	5			

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用前にケアマネと職員一人が事前訪問で生活環境の把握を行い、内容をミーティングや職場会議で共有を行っています。
 ・理学療法士や看護師が評価を行い本人に合った入浴方法や食事方法を提案し、職員への共有を行っています

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・決まった支援内容だけでなく、突発的に起こる本人の気持ちの変化や思いなどに対して柔軟な対応を行うことが日によって十分でないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・突発的に起こる利用者の声に対して気づいた点は積極的にケアマネ、リーダーに報告してプランへ具体化していきます。職員間で共有できるようにICT機器でも申し送りを行っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	人	人

前回の改善計画	・介護が必要になって出来なくなった地域での活動を再開してやりがいや生きがいを持ってもらうために、利用者と地域での関りについて調べる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の生活において事業所が関わっている時間以外で支援が必要になった方について再度把握を行い、生活ゴミの処分について支援が必要な方2名に対して地域資源を活用して支援することができました。 ・外出頻度が減ったことで趣味の囲碁や将棋が出来なくなった方に対して、他事業所で同じ趣味を持った方との趣味活動の時間を提供する事が出来ています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	3		
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	6		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	10		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・関りのあった地域の方についての情報を一覧化し、把握しています。 ・5月以降地域住民ボランティアの受け入れや地域行事(祭り、文化祭等)への参加を通じて地域との交流の機会を増やしています。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用者の中には支援以外の時間の過ごし方について十分に把握できていない方もいるため、本人の生活スタイルや人間関係を考慮した支援に繋がっていない事があります。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・利用者の生活スタイルに応じた支援を行うために、再アセスメントを行い、事業所が関わっていない時間での生活上の課題を見つけて必要な支援に繋がっていきます。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内での学習会を行い、介護経験に関係なく利用者の声にならない思いを引き出し、プランに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に意欲的でない利用者へ訪問時の関りの中から利用者の気持ちを組み取り、それを事業所で共有し、事業所でのイベント参加に繋げる事ができました。 ・自発性が少ない方に対して日々の関りの中での反応の違いについて共有し、個別リハビリメニューを作成し、プランへ反映しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	3		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	3			
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	6			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活ゴミの回収について民生員や新聞業者の委託事業所に協力してもらい、地域で支える支援が行えています。 ・利用者・家族の心身状態に合わせて宿泊などの声掛けを行い回数調整など柔軟な対応が行えています。 ・定期受診時にご家族が同行できない方には職員が同行して健康維持の支援を行っています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関りから利用者状態の把握や記録は行っていますが、職員同士の話し合いや対応職員からの柔軟な支援の提案が不十分なことがあります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との日々の関りや変化について、ICT 記録システムにて提案及び共有内容を種別ごとに記録することで協議事項を明確に区別していき、必要に応じてアセスメントやケアプランへ追記しプランの具体化に繋げていきます。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	人	人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用者に関して地域包括支援センターと連携して情報共有を図り、スムーズな利用開始に繋げていく。・利用者の思いを聞き取り、地域で開催されているイベント等に参加し地域との繋がりを確保していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・地域包括支援センターへ毎月訪問して事業所の取り組みを紹介させていただいています。利用開始前の相談などについても併せて行い、情報共有を行っています。・当施設で開催されている食育企画に調理が好きな利用者にも参加していただき、地域との交流の機会を提供することができました。・利用者の家族が参加している祭りに参加したいとの思いにも、訪問時間や送迎時間を調整して参加してもらえるように支援が行えました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所) との会議を行っていますか?		5	3	3	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1		10	
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		2	1	8	
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	1	1	7	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の定期受診や他事業所とのサービス担当者会議に職員、ケアマネが参加して情報共有ができています。・運営推進会議を開催し、地域のお困り事や事業所での取り組みや生活課題についての話し合いを対面で行うことができています。・地域行事への参加や法人主催の地域福祉活動、学生の職場見学・体験の受け入れを通して、地域と事業所の繋がり構築を図っています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の地域ごとのイベントの情報収集に課題があります。徐々に地域イベントが再開されていますが、コロナウイルス流行が長期化したことで地域内での繋がりが薄れていると実感しています。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・利用者の参加したいイベントには継続して参加できるよう支援を行い、新たに利用者の地域の行事についても家族や地域の方から情報収集を行い支援に繋げていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	人	人	人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">今後も利用者・家族・地域の方から意見を伺いながら、利用者に必要なサービスを提供していく。サービス担当者会議を通じた事例検討で意見交換を行い、意見の中から業務改善を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">運営推進会議や日々の関りからリハビリの充実に向けて、リハビリメニューを作成し、リハ職以外の職員でも行えるようにしています。利用者の個別支援内容の具体化に向けて月次で出し合い、利用者に関わる時間の確保の為に職員同士の声掛けや協力体制の強化を図ることができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		2	4	5	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	2		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	7	1	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	5	1	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">毎月の職場会議で重点課題や取り組み内容の振り返りを行い、次の目標を設定し、事業所全体で取り組みを進めています。運営推進会議で伺った地域からの意見やお申し出については適宜共有し対応しています。広報誌を作成して事業所の活動状況やイベント情報を発信して地域に根付いた事業所に向けて取り組んでいます。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">事業所のありたい姿、大切にしたい価値に基づいた業務執行に職員差が出ています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">優れた運営に向け、理念や価値→年度・月次方針→日々の業務執行を統合して目標と現実の差から課題を明確にし、職場会議や委員会活動にて質を向上させていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	人	人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none">これまで実施してきたリハビリを継続し、理学療法士が専任配置したことで今後は利用者の状態に合わせて都度修正しながら充実を図る。初回の担当者会議のときに意見が出た日常生活や利用者、家族が求めている課題に対して、利用中に生活リハビリ(おじぎ体操、立ち上がり運動など)を実践し、課題解決に取り組んでいきます。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none">理学療法士が個別のリハビリメニューを作成し、どの職員でもリハビリ提供ができるようにしています。個別リハビリの結果、利用者の身体機能だけではなく気持ちの面でも前向きになる利用者が増え、家族や他の職員からも驚きの声が聞かれています。利用者からの意見を基に利用者との食事作りや他事業所の利用者との交流を行い、楽しみや生きがい、自信を持ってもらえる取り組みを行っています。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	4		
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	4	1	
③	地域連絡会に参加していますか	1		1	9	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	3	1	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">理学療法士による利用者ごとの福祉用具の使用法や介助方法についての研修を都度行えています。運営推進会議を開催し、会議には利用者、家族、職員が参加し情報共有を図っています。利用者の残存機能を活用できるように状態に応じた介助方法の習得や環境整備、余暇活動の充実化を進める事ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">取り組み内容によっては PDCA サイクルが上手く回せずに成果を生み出せていない事例もあり、職員のスキルアップに繋げる事が出来ていないことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">成果を生み出すために PDCA サイクルの質を見直します。具体的には職員のニーズに応じた学びの場の提供を教育委員会で設定する事や外部研修への参加がしやすい勤務調整をしていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 20日 (14:00 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤) 永田 丸岡 金子
(非常勤) 木下 杉本 藤極 鳩間 浅野
白石 中村 上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	人	人	人

前回の改善計画	・定期的に「虐待の芽チェックリスト」による振り返りを行い、利用者へのプライバシー配慮などの職員全体での意識付けを促していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「虐待の芽チェックリスト」の結果を職場会議で振り返り、不適切ケアの予防に取り組んでいます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11				
②	虐待は行われていない	11				
③	プライバシーが守られている	3	8			
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	10			
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・行動指針に基づく個人目標設定や職場会議での利用者支援に対する協議の時間を確保し、自身のケア内容の振り返りを行う機会を作っている。 ・他の職員が気づいた点については適宜、リーダーなどに報告し対応しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に関する情報が、不特定多数が行き来する場所に置いてあることがあります。 ・何度も立ち上がる方に対して安全面を優先した声掛けとなっており、行動の理由を聞く声掛けが不足していることがあります。 ・利用者に関する話し合いの際に利用者個人が特定されないような呼び方を行うことが統一できていないことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者情報に関して回覧などをする際は置き場所を決めてプライバシーに配慮していきます。 ・利用者に関する話し合いを行う際はイニシャルなどで呼び、個人が特定されないような配慮を行います。	

B.事業所のしつらえ・環境

【1. 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？】

利用者の作品を展示して温かい雰囲気づくりを心掛けています。また小規模入口前には外が吹き抜けになっており、そこで施設の愛犬の「コロ」がお出迎えをしてくれています。面会などで来られた方も作品をみて和んでもらえるような環境作りを行っています。広報誌やInstagramでの事業所の活動の紹介は引き続き行っており、家族や地域の方に身近な事業所となるよう取り組んでいます。

【利用者さんの作品】



【Instagram】



【愛犬：コロ】



【2. 事業所は居心地がいい空間になっていますか？】

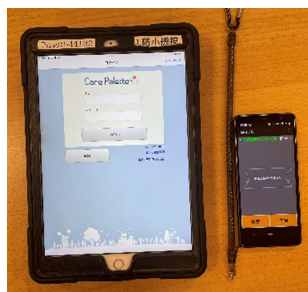
利用者同士の交流を深める為に机の配置などを工夫し顔が見えて仲の良い方と会話や食事ができるようにしています。

また、情報通信機器を活用して夜間の睡眠状態の把握や利用者情報の共有を図り、居心地がよく安心してもらえるような環境作りを行っています。

【フロアの様子】



【情報通信機器】



【お風呂の様子】



事業所には利用者の残存機能を活かして、利用者の自尊心を高める取り組みも行っています。事業所には複数の福祉用具をご用意しており利用者の身体機能に合わせた支援を心掛け、自尊心を高めて再び出来ることを増やしていけるように取り組んでいます。また、個別リハビリの充実化も進んでおり、理学療法士が作成したリハビリメニューを利用者と一緒の実施しています。

【福祉用具】



【リハビリの様子】



【ソファに座ってウトウトしている様子】

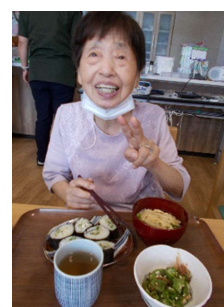


利用者との日々の関りの中で聞かれた要望や思いを組み取り、定期的に昼食作りや外出計画を立てて、楽しみをもって生活して頂けるように支援しています。
余暇活動では、利用者様同士や職員との時間を増やし、会話が苦手な方に対してはその方が得意な工作活動や体操などのレクリエーションを提供するなど利用者に応じた支援を心掛けています。

【工作活動】



【食事の様子】



【趣味活動】



【外出活動】



【3. 事業所内・外に不快な音や臭い等はないですか？】

事業所外の騒音については空調室外機を懸念していました。事業開設時に市の公害防止条例を基準とした調査を実施しており、どの時間帯も規定値内となっています。
臭いについては事業所で実践している10の基本ケアの1つである「換気をする」を徹底し、新鮮な空気を循環することに努めています。また排泄セットを各トイレに設置しています

【清掃チェック表】

感染症対策清掃チェックリスト		令和		年		月	
エリア	項目	実施	確認	実施	確認	実施	確認
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							

【掃除の様子】



【浴室の清潔】



【4. 日中事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？】

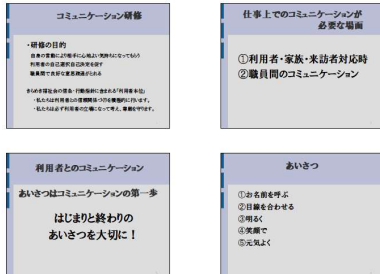
小規模入口は鍵はかかっておりません。利用者によっては施設内を散歩したり、ロビーの清掃に協力して下さる方もいらっしゃるため、利用者自身でも扉を開閉できるように建付けの不具合にはすぐに対応しています。正面玄関のドアも鍵はかかっておらず、帰宅願望が強くご自分でスイッチを押して外に行かれようとされる方もいらっしゃいますが、利用者のお気持ちを組み取りながら、小規模スタッフだけでなく事務所スタッフと連携して見守り体制を整えています。

C.事業所と地域のかかわり

【1. 職員はあいさつできていますか？】

送迎時や事業所の見学や食育企画で事業所を訪れた方には、こちらから気持ちの良い挨拶を行い、接しやすい雰囲気づくりを心掛けています。施設内の研修としてもコミュニケーションの内容をより現場で活かせるものに修正して全職員を対象に開催しています。

【コミュニケーション研修】



【地域の学生見学】



【食育企画の様子】



【2. 事務所は地域の方に知られていますか？】

事業所の取り組みに関する広報誌を毎月作成し、各病院の地域連携室や居宅介護支援事業所を訪問しご紹介させていただいています。

今年度も事業所の強みであるリハビリ職による健康講座を地域に対して開催し、地域福祉への貢献に努めています。

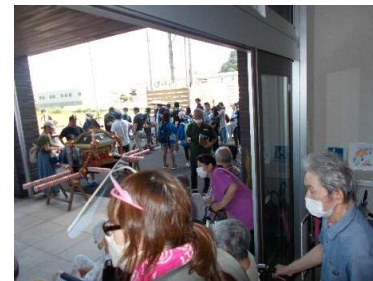
【職員にリハビリを指導している様子】



【健康促進講座の様子】



【お神輿周りの様子】



昨年より始めたInstagramを不定期ではありますが、少しでも事業所の様子を知っていただくために継続しており、投稿に対するコメントをいただく事も増えています。鯖江高校、鯖江中学校、中央中学校の職場見学や体験をサポートさせていただき、利用者と地域との交流の場を提供しています。近くのセブンイレブンには利用者が作成したエコバックを持っていき、好評とのお声をいただいています。

【Instagramによる広報活動】



【鯖江高校の学生による職場見学】



【新聞紙でつくるエコバック】



【3. 何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？】

施設環境面では正面玄関からすぐのホール内に相談室を配置しており、相談しやすい環境となっています。また、相談の際には必ず施設内の見学を案内させていただいています。日常的には、送迎や訪問時にご本人やご家族に事業所での様子をお伝えし、ご家族の要望(通い、訪問、宿泊)や在宅での介助方法のアドバイスなどにも事業所に在籍している多職種(ケアマネジャー、看護師、介護職、リハビリ職)で柔軟に対応しています。

【4. 事業所スタッフは地域の行事やイベントに参加していますか？】

地域住民を主体としたAgatte委員会に毎月職員が参加し、地域福祉活動を企画し地域の児童館の児童さんに参加していただいております。親御さんに対してもアンケートを実施して地域の要望を聞き取り、地域との繋がりやのきっかけ作りを行っています。また、地域行事(祭り、地区清掃活動、区会)にも職員が参加し、職員が地域と施設との繋がり構築に参画しています。

D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

【1. 利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？】

送迎時や日々の関りの際に、利用者の思い出の場所や食べ物、最近気になることなどについて聞き取りを行い、要望に応じて昼食作りや外出計画を毎月計画して実施しています。それ以外でも天気の良い日などには散歩やドライブに出かけ気分転換などを図りながらメリハリのある生活の支援を行っています。

【思い出を語る会】



【外出の様子】



【新聞読み】



【外出の様子】



【買い物】



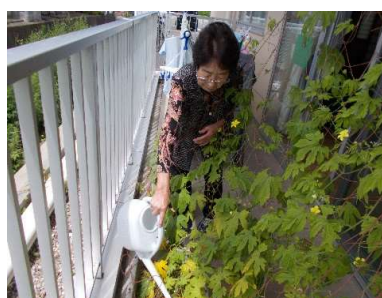
【ドライブ】



【ボランティア活動】



【季節野菜の栽培】



【カラオケ大会】



【季節の食事を楽しむ会】



【音楽祭】



【2. 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？】

運営推進会議を年6回実施し、事業所の活動報告と地域の方から声を伺い、事業活動に反映させて頂いています。

地域の方を交えた会議の開催が難しい方には、ケアマネジャーや介護職員が後見人や地域の区長様、民生員様に密に連絡を取らせていただき、情報共有や地域ぐるみでの利用者支援に繋がっています。

【3. 事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？】

職員が参加した地域での祭りでは休憩所として祭りに関わり、来られたお子さんや親御さんと利用者の交流の機会を提供しています。

職員が地域のイベントに関する情報を集め、利用者と一緒に参加され、利用者からは「楽しかった」「思い出になった」といったお声が聞かれました。

また、施設内で行われた地域のボランティアからなる音楽コンサートにも参加し楽しい時間を過ごしていただいています。

【4. 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？】

地域包括支援センターには毎月訪問し、介護支援が必要な方に関する相談など都度行い、受け入れなどの柔軟な対応を行っています。

また、運営推進会議には区長、民生員の方の参加を頂いていますので、地域の心配な方の情報共有を図る様に努めています。

E.運営推進会議を利用した取組

運営推進会議を利用した取組については補足資料2の2023年10月度運営推進会議録をお読みください。

F.事業所の防災・災害対策

【1. 事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか?】

法人災害対応BCPを規定しています。
災害時における鯖江市と福祉避難所開設に向けて準備を進めました。
災害派遣福祉チームとして過去事例を元に自主学習を実施しました。

【2. 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか?】

ご利用者の地域で行われた防災訓練には参加出来ていませんが、利用者から情報を聞いた際には家族や区長さんと連絡をとり情報収集を行っています。今後は利用者の安全のためにもより一層連携を強めていきます。

【3. 事業所の防災訓練に参加したことがありますか?】

年2回、訓練を実施しており、直近では消防署立ち合いの基6月29日に避難訓練と防災訓練を実施しています。

【4. 災害時、事業所は頼りになりそうですか?】

鯖江市より浸水エリアに該当するため避難所指定ができない旨の説明を受けています。地域に頼られる事業所に向けて新たな支援の在り方について協議を実施していきます。
DWAT増員に向け研修の機会に合わせて受講を進めていきます。

※DWAT（ディーワット）とは
災害時における、長期避難者の生活機能の低下や要介護度の重度化など二次被害防止のため、一般避難所で災害時要配慮者（高齢者や障がい者、子ども等）に対する福祉支援を行う民間の福祉専門職（※）で構成するチームです